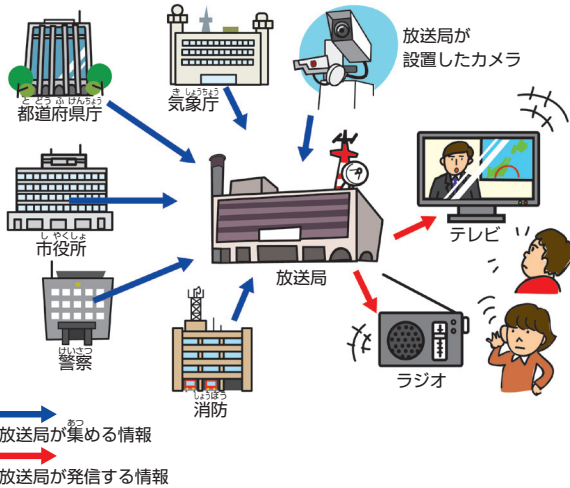




P.282 「⑥放送(ラジオ・テレビ)」の後に学習してください。

③災害を伝える

- 災害が起きたとき、メディア①は被災地の被害の状況や避難所のおよび配給・行方不明者の情報などを伝える。
- 被災地の情報を伝えるために、現地に取材する人を派遣したり、臨時災害放送局②を開設したりすることがある。
- 放送局では、あらかじめ災害が起こりそうな場所に設置したカメラや、行政機関から情報を入手し、映像や音声に編集して情報をわかりやすく伝えている。



▲ 地震・津波報道の流れ

テレビ



- ・映像と音声でわかりやすく情報を伝える。
- ・災害時に、停電などで使用できないときがある。
- ・大きな災害が起きたときには、放送予定の番組や、コマーシャルを中止して災害の情報を伝える。

ラジオ



- ・音声のみで情報を伝える。
- ・電池で動くラジオは、停電しても使用できる。
- ・災害時には臨時局が各地に開かれ、炊き出しや営業しているお店の情報など、被災地の生活に役立つ情報を伝える。

用語

①メディア

情報を記録したり、伝えたりするものや組織のこと。中でもたくさんの人に、一斉に情報を発信するテレビや新聞、ラジオなどをマスメディアと呼ぶ。



②臨時災害放送局

大きな災害が発生したとき、いつものニュースでは伝えきれない情報を正確に発信するために開かれるラジオ放送局。伝えられる情報は、炊き出しや給水などの救援情報、安否情報、道路の復旧情報など。東日本大震災のときは、テレビ局で初めてとなる臨時局を開設した。

3-4年

5年

6年

情報編

第1章
情報産業とわたしたちの暮らし